

外郭団体に関する情報公開資料

1 作成年月日および作成担当部署

作成年月日 令和2年10月1日
作成担当部署 八尾市地域福祉部高齢介護課

2 外郭団体名等

外郭団体名 公益社団法人八尾市シルバー人材センター
外郭団体所在地 〒581-0815 大阪府八尾市宮町1丁目10-32 電話番号 (072) 924-2001
設立年月日 昭和57年6月5日 ホームページアドレス <http://yao-silver.com>

3 資本金

0千円(当該地方公共団体の出資割合 0%)

4 事業内容

- (1) 臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く。)又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものを除く。)を希望する高齢者のために、これらの就業の機会を確保し、及び組織的に提供すること。
- (2) 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものに限る。)を希望する高齢者のために、職業紹介事業又は一般労働者派遣事業を行うこと。
- (3) 高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと。
- (4) 高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行うこと。
- (5) 前4号に掲げるもののほか、高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業を行うこと。
- (6) その他目的を達成するために必要な事業を行うこと。

5 財務状況(令和2年3月31日現在)

貸借対照表から	項目	金額(千円)			損益計算書から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	259,302	288,828	284,710		総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	1,017,061	1,011,406	990,025
	負債	95,084	103,092	90,851		(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	(279,923)	(280,806)	(279,903)
	(うち有利子負債)	(0)	(0)	(0)		経常損益	10,951	19,965	9,892
	純資産	164,218	185,736	193,859		当期損益	10,833	21,517	8,123
	利益剰余金	164,218	185,736	193,859		減価償却前当期損益	14,146	23,239	13,116

6 役職員の状況(令和2年3月31日現在)

役員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)
15(1)	71	1,260	10(0)	55.5	5,464

※役員の平均年収の計算の対象となる役員は、全役員15人のうち1人です。

退職手当

役員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均支給額(千円)
0(0)	0	0

7 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援(フロー)(令和2年3月31日現在)

項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	補助金(助成金)	44,201	38,230	41,448	八尾市高齢者労働能力活用事業補助金
②	利子補給金	0	0	0	
③	税の減免額	0	0	0	
④	その他()	0	0	0	
小計		44,201	38,230	41,448	—
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0	—
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用	0	0	0	
小計		0	0	0	
合計		44,201	38,230	41,448	
(参考) 委託料		235,722	241,202	238,455	小学校受付員配置業務等
(参考) 指定管理料		0	0	0	

(2) 公的支援(ストック)(平成2年3月31日現在)

項目		内訳			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
	(将来負担額)	0	0	0	
	(将来負担参入率)	0	0	0	
②	貸付金残高	0	0	0	—
③	出資金	0	0	0	
合計		0	0	0	

8 経営分析指標による経営状況の評価

	経営分析指標	指標の目安	前々年度	前年度	本年度
①	流動比率（流動資産／流動負債）	比率が高い方が、健全である。	204.96	223.10	231.02
②	自己資本比率（自己資本／総資産）	比率が高い方が、望ましい。	63.33	64.31	68.09
③	売上高経常利益率（経常利益／売上高）	比率が高い方が、望ましい。	1.08	1.98	1.00
④	総収入に占める市受託事業及び市補助金の割合	比率が低い方が、自主的運営が図られている。	27.52	27.81	29.50

9 地方公共団体による意見

公益社団法人八尾市シルバー人材センターは、昭和57年6月の設立以来、八尾市をはじめ各種団体、市民各位のご理解と会員の協力のもと、順調に事業の推進を行っている。

今般、令和2年度の予算及び事業計画並びに令和元年度の決算及び事業報告を受けたが、いずれも適正なものと認められる。

今後は、高齢者が福祉の受け手ではなく積極的に地域活動や社会参加を通じて地域社会に貢献し、生きがいと誇りをもって充実した生活が送れるような取組みを進めることが重要である。また、平成30年度に策定した第5次中期計画に則り、サービスの質を高めることはもとより、顧客ニーズに適切に対応できる組織体制を確立するとともに、高齢化社会の将来を見据えた事業展開を推進すべきと考える。

10 その他の特記事項

特になし

※公益法人及び社会福祉法人は、「5 財務状況」の各項目のうち、必要な項目について、それぞれ公益法人会計基準及び社会福祉法人会計基準における決算書類の項目名等に読み替えています（下記参照）。

公益法人

＜貸借対照表＞・純資産⇒正味財産合計、利益剰余金⇒一般正味財産

＜損益計算書＞・損益計算書⇒正味財産増減計算書

・総収入（＝売上高＋営業外収益＋特別利益）⇒総収入（＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額）

・経常損益⇒当期経常増減額

・当期損益⇒当期一般正味財産増減額

社会福祉法人

＜貸借対照表＞・利益剰余金⇒次期繰越活動増減差額

＜損益計算書＞・損益計算書 ⇒ 事業活動計算書

・総収入（＝売上高＋営業外収益＋特別利益）

⇒ 総収益（＝サービス活動収益＋サービス活動外収益＋特別収益－（事業区分間繰入金収益＋拠点区分間繰入金収益））

・経常損益 ⇒ 経常増減差額

・当期損益 ⇒ 当期活動増減差額